

●自己評価					●関係者評価		
令和4年度 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 自己評価表(調理師科・パティシエ科)							
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	課題	今後の改善方策	特記事項	関係者評価 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	関係者評価 特記事項	
教育目標 理念	①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	社会の情勢変化に伴い、求められるニーズは日々変化しており、かつ生徒の資質も多様化しているため、現行の育成人材像や教育目標の設定の見直しが必要となる部分がある。また前年度にも見られたが、教育理念について一部生徒への浸透が弱く、理解が浅い部分が見られる。 ③については十分に認知されているとは言えない。また、②についてはコロナもあり社会情勢が流動的である上、ニーズ自体が減退傾向にあるので何をやるにしても過渡期にあるように思われる。 告知の手段の再検討が必要 コロナの為、大きなイベント等が出来ず保護者を呼ぶ事が少なかったが少しずつ改善している。 授業内容を充実させる。	学校関係者評価委員会をはじめ、講師の諸先生方並びに取引先の企業等との普段の連携を一層強める。生徒のニーズを把握することで、基本理念は保ちつつも、育成する人物像や教育目標を更新する。 また教育理念について学生への浸透度を上げるため、理念の提示の場を増やすと同時に、説明をより分かりやすく具体的に伝える。さらに、教職員も教育理念を再認識し、同じ方向性をもって教育方針を決め、指導にあたる ③理念の明確化と周知の徹底。要項等へ記載するの一手ではないが、課題を克服する為の協議が必要。理想論だけでなく行動することが重要。互いを認め合い、尊重し理解し自分自身を高めていく。	④まだまだパティシエ業界は長時間労働・低賃金・休みは少ないのが現状ではないか。華やかなイメージでパティシエを希望している生徒も多いので、とまどっている姿がある。	3	
	②社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	3					
	③学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3					
	④各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3					
学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	本校独自のシステムで運営しているが、学園との一元化を図る。これにより、システム使用コストの削減を図るとともに、書式等を統一化し、状況を確認・比較できるようにする。	情報システムの一元化をはかる新たな情報システム構築を検討する⇒職員の事務作業の減少も期待できるのではないかと。コロナウィルス感染対策として密を避けるため、学園祭の開催においては会場を分散させるなどの工夫をし、対面式のイベントとして開催することができた。このように With コロナ、After コロナに備え、様々な創意工夫をしながら生徒に対し学校生活の充実を図り、延いては学習へのモチベーション増加に努める。		4	・学校運営は学生ファーストの気持ちで運営を行うことが大切。 ・教育には家庭的な雰囲気が必要。
	②事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3	実施した教育活動等は、学校パンフレットへの掲載や広報用紹介冊子を作成し、かつその他メディア(Facebook やホームページ)を用いて、学校関係者及び入学の対象となる中・高校生や保護者、就職先となる企業等、学外へ向け広く情報公開を行っている。 ネットワークインフラ整備に取り組み、通信環境の向上を図った。 昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大のため、年度当初に計画した学事日程を、予定通りに遂行できない事もあった。また、現状では教育活動広報に利用するツールやメディア(パンフレット、ホームページ)が多岐に渡っており、担当者の負担が大きくなっているため、掲載頻度や情報量が少なくなっている。さらに、広報内容の確認や精査には教務と並行して教員があたっており、スピーディーな広報活動に至っていない。	広報部の組織化を実現し、【企画→制作→チェック→広報】のサイクルを明確化、標準化する。またそれに伴い広報担当の増員(生徒も巻き込んで)を行うことで、より充実した内容を周知するような体制の整備を行っていく。 人員が増えないならば、仕事の質・量の見直しが必要。 校則を現状に合致した内容に再整備する必要あり。 課題の克服する為の協議をし解決していく。理想論だけでなく行動することが重要。互いを認め合い、尊重し理解し自分自身を高めていく。			
	③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3					
	④人事、給与に関する制度は整備されているか	4					
	⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4					
	⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3					
	⑦教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3					
	⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3					
教育活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4		今以上に企業、業界団体等との連携を深めることにより企業等の求める実践力を育てるカリキュラムの作成にあたる。 学校評価委員会、教育課程編成委員会等の意見および関係先企業の人事・教育担当者との接触を図り情報の収集に努める		3	・学校は学生募集と授業(座学と実習)が一番大切。
	②目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として各学科の教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	⑤インターンシップは希望者のみになっているのでほとんどの生徒が行っていない。パティシエ科はカフェテアートやカフェクレーパー講座が授業に組み込まれているので、実践的な教育は多少経験が出来ていると思う。				
	③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4					
	④関連分野の企業・関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの教育方法の工夫・見直し等が行われているか	3	⑩⑪外部講師の高齢化により、白板的な文字が読めないや話している声が聞き取りづらいなどの意見が数年前からあるが改善されない。生徒の出欠においても混乱が生じた例があり、非常勤講師の若返りも検討が必要がある。	⑤夜間があと半年で実習の授業がなくなるため、調理師科の先生方の負担が少しは減ると思われる為、保育園実習や学生レストランに力を入れ、それに合わせパティシエ科の菓子販売を行ってはどうか。 ⑩⑪外部講師の定率制度が作れないのか。出欠をきちんととれないと毎回の確認が必要となってしまふ。 課題を克服する為の協議が必要。理想論だけでなく行動することが重要。互いを認め合い、尊重し理解し自分自身を高めていく。 年度はじめに外部講師の契約をされる時に再度生徒の出欠状況について転記してもらおうように伝えて欲しい。出席が足りなくなつて伝えられても遅い。			
	⑤関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	3					
	⑥授業評価の実施・評価体制はあるか	3	⑫知識・技術等を習得する為の研修に行く時間が取れない。補助金があることは周知されているが、日々の業務に追われている。まだまだ勉強不足なところがあるため色々研修に行かせていただきたいと思うが、事務作業が多いため時間がとりにくい。研修の案内が来ても行きたくないと言いつらい。生徒の出欠状況について、外部講師の転記がされていないことがあるので、担任サイドでの確認ができない。				
	⑦職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3					
	⑧成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	3					
	⑨資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3					
	⑩人事育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できるか	3					
	⑪関連分野における業界等との連携に於いて優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3					
	⑫関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3					
	⑬職員の能力開発のための研修等が行われているか	2					
学修成果	①就職率の向上が図られているか	4	新型コロナウイルス禍においても十分な求人数を確保できており、かつ就職率も高い水準にあるが、生徒が望む業種や職種、条件等と、実際の就職とのアンマッチが発生している場合があった。特に学生が望む潤沢な雇用条件を鑑みた場合、企業からはより主体的で専門性を持った能力の高い人材が求められる事実に対し、生徒の目標設定や就業意識の低さ、自己肯定感が低く就職への自信のなさから、就職活動へ積極的に取り組むことができないこと等が要因として考えられる。 生徒間で学習能力差があり、授業の進行についていけない生徒のモチベーション維持が課題である。モチベーションの低下は退学へつながる場合もあるため、授業や個別指導等の工夫が必要となる。また、その主な原因は基礎学力と思われる場合が多く、就職活動においても影響が見られ、その能力向上を図る取り組みが急務である。さらに、このような状況は、将来像が未確定の学生に多く見られ、キャリア教育への取り組み方も今後の課題である。	資格取得の必要性を訴え、取得意欲を高めることにより合格率の向上を図る。 シラバス作成は継続的に充実した内容になるように作成、修正を重ねる。また、教員研修も年間計画を組んで新型コロナ収束後には県外移動を含めた効果の高い研修実施を目指す。各講師間の連携を図るとともに資格取得に向けた特講等を強化する。生徒の状況を常に把握して、必要に応じて、授業前・授業後の補講などを強化して行っていく。 退学者減のために、担任を中心とした学生管理や相談などを細目に行っている。しかし、退学者は減少しているものの、完全になくなったわけではないので、今後も退学者0に向けてその生徒にあった指導体制の工夫は必要である。個別面談及びカウンセラーによるカウンセリングの回数を増やすとともに、学生サポートを職員の連携で取組んでいく。 卒業生に対しては、国家試験不合格者や離職したことの報告など、学校とある程度何らかの接触がある卒業生は把握できているが、全ての卒業生に対する現状把握まで至っていないので今後は、卒業生に対するアンケートの実施や同窓会など卒業生にアプローチを強化していく必要がある。 カリキュラムや使用教材を再度見直し、合格に向けて教育水準が向上するように努める。また、生徒の意欲を維持させるためにも、学習への動機づけなどを再確認する。 ③座学のみにはなるが、リモートでの授業を一年間許可する。長期履修制とは聞くが詳細が分からない。規約等きちんとし、職員全員が把握する必要があるし、早めに保護者に伝える必要がある。 今後は、活躍や評価にも関心を向け、本校の情報発信に利用していきたい。		3	
	②資格(免許)取得率の向上が図られているか	4					
	③退学率の低減が図られているか	3					
	④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	③結局高校にもあまり通学できていない生徒を受け入れても本校にも登校できなくなり、単位が足りないと言われることも辛くなり退学している。そういう生徒がこれからは増える可能性が高いため、しっかり対策をとらなければならない。 ④卒業生・在校生の活躍や評価をほとんど把握していない。 生徒一人一人のケアをされていて卒業生の活躍など不明。 卒業時に学校に対する満足度調査についてその結果をもとに担当の職員にしっかりと伝え、次年度の教育活動に活かしていけないと、調査をするだけでは何の意味もない。				
	⑤卒業時に学校に対する満足度調査を行い、その結果を次年度の教育活動に活かしているか	3					

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	課題	今後の改善方針	特記事項	関係者評価	
					適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	関係者評価 特記事項
学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	問題を抱えている学生の保護者との連携に困難を感じる。より広範囲の保護者との連携を図ることが必要となっている。保護者とは連携を密にするように心がけているが学校と家庭でのやり取りにおいて言葉のほんの少しのニュアンスの違いによっても、保護者からの不信感につながってしまうケースもある。	生徒および保護者に寄り添い、頻りに連絡を取り合っており、生徒のフォローをすることにより誤解を少なくしていくことが必要である。卒業生へのフォローは万全ではない。特に現況の把握がまだしっかりとできていない部分がある。今後は卒業生の動向把握も必要であり、学校としてできる支援体制の確立が必要である。	3	・就職内定率100%は素晴らしい。
	②生徒相談に関する体制は整備されているか	3	メンタルヘルスに問題を抱える学生への対応強化。入学後から定期的に個人面談を行い進路指導をしているが、生徒自身の進学活動への取り組みがなかなか進まず、卒業間際になっても進学・就職先が決定しない学生もいる。	社会人の教育ニーズに対する取り組みは、今のところ特段実施していないが、社会のニーズを調査し、対応していく。社会人から見た、専門学校の魅力を再度考え直していく必要がある。どの年代でもタイミングさえあれば調理・製菓の仕事はできるということ、どんな年代になっても専門学校に入学して学べるということを、今後も社会人に対して様々な機会にアプローチが必要である。		
	③生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	②カウンセラーや担任に相談がしづらいという生徒の意見も見られた。	進学・就職活動のスケジュールを生徒全員に把握してもらい、早め早めに準備を進めていけるように、個人個人の進捗を確認しながら指導していきたい。		
	④生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3	⑦保護者との連携が取れていないという意見もあるが、学生支援については現状を考えると不足しているとはいえずこれ以上の改善は難しい。	⑦単位が足りなくなってきた報告では遅いので、担当科目の職員(非常勤も含む)に出欠簿を頻りに転記していただき常勤の職員がすぐに見て対応できるようにした方がよい。		
	⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	パティシエ科の奨学金非対応、という部分は入学前にしっかり告知が必要であるようにも思われる。	課題を克服する為の協議が必要。理想論だけではなく行動することが重要。互いを認め合い、尊重し理解し自分自身を高めていく。		
	⑥生徒の生活環境への支援は行われているか	3	高校との連携をもっと取り組んで生徒募集に繋げるようにしていかなければいけない。	課外活動についてはコロナ感染があつてなかなか出来なかった部分もありましたので、今後は色々と考えていながら活動していかなければと思います。		
	⑦保護者と適切に連携しているか	3				
	⑧卒業生への支援体制はあるか	3				
	⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3				
	⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3				
教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	コロナ対応のため、校内にwi-fiを配備し、オンライン授業が出来る環境にあるが今後、生徒がより効果的な学びをするために普段の授業から生徒自身の機器をwi-fi接続させることを検討しなければならぬ。	①古臭い印象がより高まっていると思う。校舎の外は古いと思われながらも中には補修、買い替え等した方がよい。今は時代が違つたため若者は綺麗でお洒落なところに行く傾向がある。実習室の壁紙もできる限り張り替えているが、時間がたつたため、途中で終わっている。	3	
	②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	①ロッカーは壊れているものが多い。実習室の壁紙は剥がれている。ゴミが落ちていたり、汚れている場所がある。	手が空いた時に掃除するじゃ誰もしないので、清掃の時間を設け、生徒と一緒に、校舎内外を綺麗にする。		
	③防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4	施設の老朽化は否めないが、イベントを本校中心で行うのであればせめて1Fのバリアフリー化は必要なのではないか。	インターンシップについては、生徒の体調管理の徹底、インターンシップ開始 数週間前からのアルバイトの自粛などの対策を実施し、実習先に受け入れてもらえる体制を築いておかなければならない。		
学生募集	①学生募集活動は、適正に行われているか	3	生徒の更衣室ロッカーが古すぎて扉も閉まらないところもある。どうにか買い替え事はできないのか。	②インターンシップを全生徒強制にする方がよいのではないかと、現状の業務内容でも手がいっぱいのため、強制にしたときの職員負担の増加は厳しいのではないかと。	3	・就職100%を広報活動に利用する。 ・就職内定先のポスターを作り高等学校に訪問してアピールしてはどうか。
	②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	②インターンシップに行く生徒も少ない。企業の方たちは一度職場の状態を見ておいてほしいという意見がある。海外研修を楽しみに入学してきた生徒がいるがコロナ禍の為、できていない。国内でもいいので研修を再開してみようか。	課題を克服する為の協議が必要。理想論だけではなく行動することが重要。互いを認め合い、尊重し理解し自分自身を高めていく。		
	③入学選考は、適正に行われているか	3	インターンシップ、学内、学外実習等もコロナの影響を受け、実習が再開されたが、実施回数は少ないので年度での実施回数増加等を検討しなければならぬ。	投資に見合う回収、という部分を保護者、社会人にアピールする必要あり。		
	④学納金は妥当なものとなっているか	4	防犯はDVDの録画はいいのかわからない。OPC参加者の歩留まり率を上げ、入学者数の増加に結びつける。	課目を克服する為の協議が必要。理想論だけではなく行動することが重要。互いを認め合い、尊重し理解し自分自身を高めていく。		
財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	イベント前のみではなく、定期的に訪問しては？	全員で各学校の担当を決めて、出来れば毎月一回訪問していく	4	
	②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	学生募集については、もっと全員で取り組んでいくべきだと思う。			
	③財務について会計監査が適正に行われているか	4	①体験型のガイダンスはパティシエ科ばかりが行っていて調理師科のことがあまり伝わっていないのではないか。			
	④財務情報公開の体制整備はできているか	4	アウトプットの明示化は社会人募集のために必要。			
法令等の遵守	①関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③学校が経営不振の為、選考を行っているというより、全員入学という状況。		4	
	②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	安定的に学生数を確保し、教室賃貸収入に依存しない経営体制を作り上げる。	改善点を指摘して改善になっているのか不明。		
	③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	毎年、生徒数が足りていない為、財政状態は悪い。近年子供の数も減少しているし、コロナ等で飲食店への不安感から調理パティシエになる人も減少している。生徒数確保が一番だと理解しているが、販売活動や施設貸し出し等で収入を増やしていく必要がある。なので施設貸し出しの際はきちんと施設使用料はとるべきではないか。	自己評価結果を公開していただき、改善点を明確にされて改善していくのが良いと思う。		
	④自己評価結果を公開しているか	4	監査等は定期的に外部からの監査をうけられているので適正にやられていると思う。財務のことについてはよくわからないが、本校の赤字部分を少しでも改善していく事を考えていく			
地域・社会貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	学校全体で意識してボランティア活動を支援している。	生徒自ら提案したボランティア活動等の支援体制の整備や公開講座の開催・受託等を積極的に進めていく。	4	
	②生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	③公開講座はコロナ禍になってから行われていない。本校の知名度や収入のために再開する。	本校生徒が取り組んでいるボランティア活動の内容を、より一層学内外に広く周知して、ボランティアの輪が社会に広がっていくよう取り組みたい。		
	③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3	今年度は地域ボランティア活動として清掃活動を初めて実施された	今後はボランティア活動として清掃活動を年に数回増やしていければ良いと思う。		